

上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会「普及啓発部会」
平成29年度活動報告（中間）

■現状と課題

- 1 現在各職能団体が行っている普及啓発を市民はもとより専門職も知らないことが多い
- 2 多職種間がつながって、連携したよりよいケアにつながる普及啓発を「効果的」にしていくことが大事
- 3 認知症については、家族・地域に正しい理解の普及をしていくことが必要
- 4 各委員の意見を交換し、部会としてのテーマの統一を図ることが必要

■部会の目指す姿とH29年度実施内容

医療・介護が必要になっても、在宅で支援を受けながら生活することや、在宅生活の良さについて知る機会とし、自分事として考えることができる普及啓発を目指す。

○市民に対する効果的な普及啓発の内容や方法について検討する

○講話台本や資料を作成し試行実施し、平成30年度より市民へ普及啓発を行う

■部会開催状況

	月日	内容
第1回	平成29年6月22日	課題の確認及び今後のスケジュールについて検討
第2回	平成29年7月21日	目指す姿について検討
第3回	平成29年10月4日	福祉・介護・健康フェア in 上越での普及啓発について内容検討
第4回	平成29年10月23日	福祉・介護・健康フェア in 上越での普及啓発リハーサル
第5回	平成29年10月28日	福祉・介護・健康フェア in 上越での普及啓発実施 (会場：オーレンプラザ)

■福祉・介護・健康フェア in 上越での普及啓発（会場：オーレンプラザ）について

一般の方へのステージイベントとして座談会形式で実施。（1時間）

出務者：森橋部会長、川田副部会長、羽尾委員、金井委員、相澤委員

テーマ：「いつまでも住み慣れたこの地域で暮らしていくために、今できること」

内容：将来、自分や家族に介護が必要になることをイメージし、今何ができるかを伝える機会とした。大切なポイントとして、①相談すること（まずは地域包括支援センターへ）、②心構えを持つこと（早いうちから介護について話そうよ）を伝えた。

★当日は緊張の中でしたが、市民に向けて在宅医療・介護の発信をすることができた。

■今後の取り組みの方向性

○福祉・介護・健康フェア in 上越での普及啓発内容を基に、シナリオを作成

○市民への具体的な普及啓発手段（対象者、時期、場所等）についての検討